



# 選択的夫婦別姓制度 市議会の対応は？

陳情  
第1号

6月定例会では、市内の市民団体から、高梁市議会として選択的夫婦別姓制度の法制化を進める意見書の提出を求める陳情がなされました。昨年、国の「第5次男女共同参画基本計画」策定に際して注目され、また、会期中の6月24日には、最高裁判所大法廷の憲法判断が示されたことから、関心が高まっています。

## ■これまでの高梁市議会の対応

平成22年3月定例会では、選択的夫婦別姓を認める民法の一部改正に反対する陳情が採択され、高梁市議会として内閣総理大臣、総務大臣、法務大臣、男女共同参画担当の内閣府特命担当大臣、衆議院議長、参議院議長に選択的夫婦別姓に反対する意見書が提出されました。説明の中では、選択的夫婦別姓に対する国民的合意がないこと、伝統的家族の価値観を尊重する国民感情が根強いこと、別姓となれば子どもに大きな影響を与え、我が国の将来に大きな禍根を残してしまうと危惧されること等が理由として挙げられました。

## ■高梁市議会は継続審査へ

岡山県内の市町村議会では、県議会と同様の判断を下した議会もあれば、倉敷市議会のように選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書が全会一致で採択された議会もありました。委員会審査に際して、意見陳述により陳情した団体から詳しくご意見を伺いました。夫婦別姓を認めないのは国際的に日本だけであること、世論調査によれば、これからの社会を担う若い世代ほど選択的夫婦別姓を認めていくこと等の説明がありました。

## ■他の議会の対応

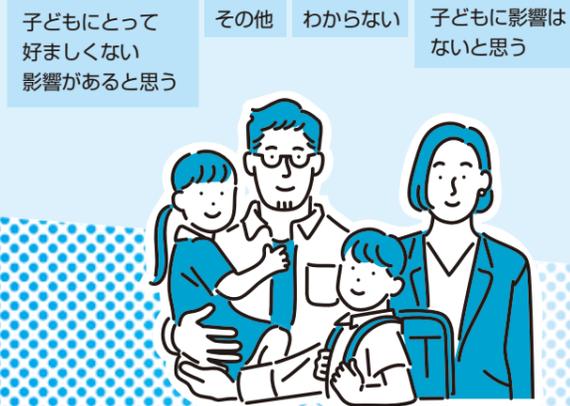
岡山県議会では、令和3年2月定例会で、選択的夫婦別姓制度の法制化に反対する意見書案について、賛成多数で可決されました。

委員会審査の中では、まだまだ議論が必要であるとして継続審査となり、本会議でも、継続審査とすることとなりました。今後、所管する市民生活委員会での調査を経て、結論が出されることとなります。

## ★ 選択的夫婦別姓制度についてどう思う？



## ★ 子どもへの影響は？



子どもにとって好ましくない影響があると思う  
子どもに影響はないと思う  
わからない  
その他

婚姻をする以上、夫婦は必ず同じ名字(姓)を名乗るべきであり、現在の法律を改める必要はない  
夫婦が婚姻前の名字(姓)を名乗ることを希望している場合には、夫婦がそれぞれ婚姻前の名字(姓)を名乗ることができるように法律を改めてもかまわない  
夫婦が婚姻前の名字(姓)を名乗ることを希望しているが、婚姻によって名字(姓)を改めた人が婚姻前の名字(姓)を通称としてどこでも使えるように法律を改めることについてはかまわない  
わからない

平成 29 年内閣府の世論調査の結果より

## TOPICS

議会 ICT 推進特別委員会報告

# 9月定例会導入に向けて ICT機器の研修会を実施

議会 ICT 推進特別委員会の初め、タブレット端末の初期設定に際しては、で例から、グループウェアによる連絡や議場への ICT 機器持ち込みを試行として行ってきました。これを踏まえて、「高梁市議会 ICT 推進基本計画」や使用基準を策定しましたが、大きな課題として、個々の議員で異なる経験や技能の差を埋め、本会議や委員会です分に活用するにはどうしたらよいかということでした。



講師を招いた研修



タブレット端末の初期設定

## 会派 日本共産党高梁市議員団 を結成しました

### 会派を結成するにあたり

もともと団員は、日本共産党の市議会議員として、憲法を生かし、地域や市民の声を議会に生かす活動を行っていました。今後とも安心安全な地域づくり、毎日の暮らしや福祉の増進のために、高梁市に対しても国に対しても物申したいります。また当会派以外の議員の方々とも協力共同の立場で頑張ります。



議員団長 石部 誠



事務局長 小柴健男

事務所 高梁市中原町1420  
電話/FAX 0866(22)4000